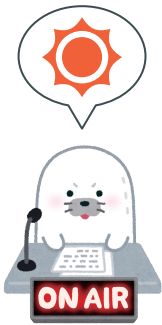


## 新機能性試験の紹介

### —ユニチカゲーメンテック株式会社との共同開発— 持続冷感効果の試験方法を開発しました



昨年に続き、今年も**猛暑**、恐らく今後も続くものと予想されます。  
熱中症での救急搬送数も増加傾向にあり、対策が急務です！  
熱中症対策の1つである冷感を謳う製品の試験と言えば接触冷感試験をまず  
思いつくのではないのでしょうか？

しかし皆様から「瞬間ではない冷感性を試験できないか？」との声を多く頂き、この度

### 「吸熱効果のあるジェル等を使用した製品の持続冷感性」

をリリースいたしました。

これまで明確な試験方法がありませんでしたが、ユニチカゲーメンテック株式会社との  
共同開発で試験方法を確立することができたのでその内容をご紹介します！



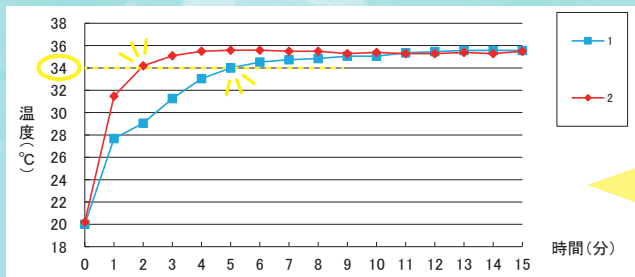
## ジェル製品等の持続冷感性試験 BQE A 044 試験の概要

**対象アイテム** ジェル等を使用した製品  
(寝具等の敷きパッド、携帯座布団、座椅子カバー 等)

**試験方法** 体温を想定した熱板を接触させ、試験試料の表面温度を測定

**試験結果** 34℃に至る時間(分)

例)



時間が長いほど  
冷たさが持続する  
ということね！



**機能表示例**

持続冷感 or 吸熱効果によって一定時間の冷たさが感じられます。  
※使用状況によって効果が低減する場合があるため、ご注意ください。

※の内容を記載することをお勧めしています。



冷たいアイマスクや、発熱時に熱を下げる目的で用いる  
シートの評価にも応用可能よ！是非相談してみてください！



ユニチカゲーメンテック株式会社では、  
実使用を想定した状態(人やサーマルマネキンを用いた  
着用時の評価・夏場環境)での持続冷感性試験の実施も可能です。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。